



自分とクライアントを守る準備、できていますか？

～「パーソナルBOOK」を“もしも”に備える一冊へ～

災害は、ある日突然起こります。

■ 災害時にはこんな状況が

連絡が取れない、情報が錯綜する、代替支援者が急きょ対応しなければならない、医療・服薬情報が分からない！こんな時に、慌てずに済む「情報」がとても大切。

各クライアントに配布されている、「在宅用災害対応パーソナルBOOK」（地震災害編と水害・火災・Jアラート編）が頼りになります。



特に、パーソナルBOOKの中の第1章を「完成」させてください
(地震編 P5～P12 / 水害編 P5～P7)

「書いてある」ではなく、「使える状態」になっていますか？

クライアント自身の情報や緊急連絡先が書かれていますか？



「未完成あるある」要チェック！記入済みでも、もし下記の状態があったら改善をお願いします☆

- 薬の名前が詳細に表記されていない（「いつもの薬」等になっている）
- 服薬時間・回数が書かれていない
- 既往歴がざっくりとしか書かれていない
- アレルギー情報が未記載
- パニック時等の対応、NG 対応（やってはいけないこと）が書かれていない
- 本人のこだわり・特性がわかりやすく書かれていない
- 「いつもやっていること」が言語化されていない
- 家族の連絡先が1件しかない
- 連絡の優先順位が決まっていない
- 夜間・休日の連絡先が抜けている

「自分が被災する可能性」を考え、あなた自身の備えも

■ 忘れてはいけないのが、災害時は「アテンダント（支援者）」である前に一人の当事者になるということです。自宅に帰れない、通信が使えない、家族の安否確認ができない、そんな中で支援を続けるには、自分の備えと情報整理が不可欠です。

自分の緊急連絡手段の確認 → いつも訓練しているVjica（ヴジカ）やメールの確認、自分の緊急連絡先を書いた「災害時緊急連絡カード」（全従業員に配布）を常に持っていますか？

- 家族との安否確認ルール決めていますか？
- 外出する時には最低限の防災グッズを持つ習慣を！



大事な事なので繰り返しお伝えしています。

昨年5月号 & 10月号の防災ニュースもご覧ください！



災害用伝言サービス：録音時間30秒以内・電話番号あたり1～20伝言（「NTT東日本災害への取り組み」より）

伝言ダイヤル 171	171をおし、録音は「1」、再生は「2」、音声ガイドに従い予めお互いで決めた電話番号を入力すると、伝言の録音・再生ができます。
災害用伝言板 (web171)	ネットでweb171にアクセスし、予めお互いで決めた電話番号と伝言を入力します。この電話番号全国（国内外）から伝言の確認や追加をすることができます。また、伝言ダイヤル171に登録されたメッセージを確認することもできます。
171 体験利用提供日	毎月1日と15日（00時00分～24時00分）、正月3日（00時00分～24時00分） 防災週間（00時00分～24時00分）、 防災とボランティア週間（1月15日9時00分～1月21日17時00分）

【土屋防災委員会】の

X をフォロー
お願いします！
エックス



アカウント登録
をして、防災に
関する様々な
情報情報をGET !!